


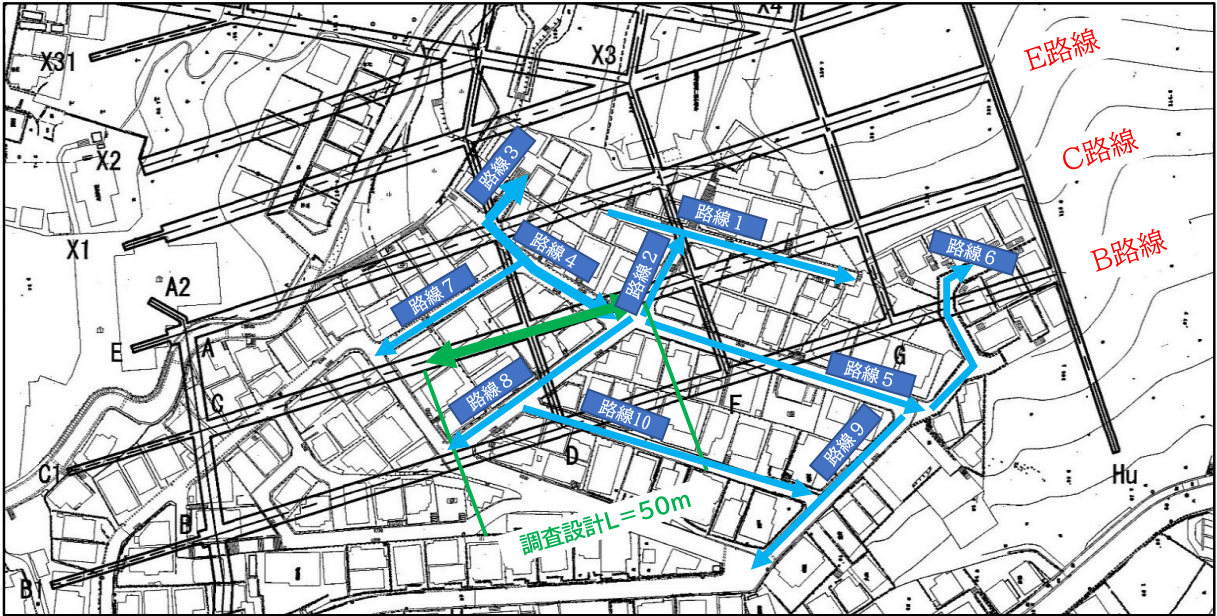
《特殊地下壕対策工事の設計》

■特殊地下壕が確認・判定されているC路線50mの特殊地下壕対策工事の設計を実施する。物理探査及びボーリング調査でC路線より地下壕対策を優先すべき箇所が確認された場合は設計変更を行い、優先すべき箇所の設計を実施する。

《物理探査》

■特殊地下壕の空洞箇所及び崩落箇所を探るため物理探査（微動探査）を実施する。

令和6年度物理探査路線 



番号	延長	深度20m	深度35m	路線計	備考
路線1	67.0 m	61点	42点	103点	・物理探査箇所周辺で標高の異なる特殊地下壕が確認されている。 ・史料によれば、本地区の特殊地下壕は2階建てである。 ・そのため、同一路線で深度の異なる物理探査を実施する。 ・深度20mと深度35mは目安であり、路線ごとに深度は異なる。
路線2	26.2 m	27点	20点	47点	
路線3	13.5 m	16点	12点	28点	
路線4	62.8 m	76点	45点	121点	
路線5	92.7 m	106点	55点	161点	
路線6	92.4 m	187点	80点	267点	
路線7	54.8 m	64点	34点	98点	
路線8	73.4 m	84点	44点	128点	
路線9	60.1 m	124点	46点	170点	
路線10	97.3 m	142点	71点	213点	
計	640.2 m	887点	449点	1336点	

《ボーリング調査》

■特殊地下壕の有無を判定するため、特殊地下壕対策工事の設計をするため、特殊地下壕対策工事完了箇所の施工状況を確認するためボーリング調査を実施する。

■物理探査の結果より、ボーリング調査箇所1～4は確定するものとする。

令和6年度ボーリング調査予定箇所 ※物理探査の結果に応じてボーリング調査を実施します



番号	ボーリングの目的	シルト・粘性土	砂・砂質土	礫混じり土砂	固結シルト	計	適用
1	特殊地下壕の判定	11.8 m	15.3 m	7.2 m	5.7 m	40.0 m	・機械ボーリング ・オールコアボーリング ・標準貫入試験 ・フェノールフタレイン溶液の塗布 ※特殊地下壕の空洞が確認できる場合、設計変更を行いカメラ撮影及び3次元レーザスキャナを実施する場合がある。
2	特殊地下壕の判定	13.7 m	18.0 m	0.0 m	8.3 m	40.0 m	
3	特殊地下壕の判定	9.7 m	16.2 m	5.0 m	4.1 m	35.0 m	
4	特殊地下壕の判定	2.0 m	11.7 m	7.7 m	14.6 m	36.0 m	
5	特殊地下壕の状況確認	4.5 m	21.3 m	1.8 m	6.4 m	34.0 m	
6	特殊地下壕箇所との比較	8.9 m	15.8 m	6.2 m	4.1 m	35.0 m	
	計	50.6 m	98.3 m	27.9 m	43.2 m	220.0 m	